



塚本小学校 検索

校長先生からのメッセージ

「豊かな人間性を育み、強くまじめに明るく生きぬく子どもを育てる ～自分の考えや思いを自分の言葉で話すことができる～」を学校教育目標として、教職員一同一丸となって、教育活動を推進しています。「一生懸命考える子」「心豊かな子」「元気な子」「仲間を大切にしている子」「気持ちよくあいさつする子」を育て、子ども達のもっている「力」や一人一人のよさ、可能性を伸ばし、豊かな人間性を育む教育活動を展開していることが、本校の特長です。望ましい人間関係の構築をめざし、めまぐるしく変化する社会の中で、子ども達が正しい判断力と表現力を身につけ「生き抜く力」を身につけてほしいと願っています。

● 学校運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を60%以上にする。
 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれに学年も前年度より1ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

・デジタルドリル等のデジタル教材を活用した授業を毎日実施する。

● 令和4年度全国学力・学習状況調査結果

	国語	算数	理科
学校	66	64	61
大阪市	64	62	60
全国	65.6	63.2	63.3

● 学力の状況と学力向上に向けた取組

国語平均正答率は66%で、大阪市を2ポイント上回り、全国を0.4ポイント上回った。算数は64%で大阪市を2ポイント、全国を0.8ポイント上回った。理科は、61%で、大阪市を1ポイント上回り、全国は2.3ポイント下回った。本校で取り組んできた国語科の研究の成果を踏まえ、「言語力の育成をめざした国語科指導のあり方」を通して主体的に考え、話し合うことができる学習活動を柱においた。どの教科においてもこの学習活動を引き続き行っていくことが重要である。学習の「ふり返し」では、一人一台の端末を使って、個に応じた学習の充実を図りたい。

● 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	15.33	17.04	32.85	33.59	35.01	9.76	148.00	18.71	47.36
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	14.21	15.89	38.99	32.67	27.91	10.09	132.65	11.19	48.25
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

● 体力の状況と体力向上に向けた取組

男女ともに、多くの種目において、大阪市・全国の平均値を下回った。その結果「体力合計点」は全国と比べて、男子は4.92点、女子は6.06点下回った。

児童質問紙「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、肯定的な回答の割合は、男子は91.7%であり、大阪市・全国より0.7ポイントほど、女子は86.9%であり、大阪市・全国より1ポイント下回った。

塚本の教育のキャッチフレーズ

「なすことによって学ぶ」
 つ「つよい」
 か「かんがえる」
 も「もえる」
 と「ともにはげみ高め合う」子



◆めあてに向かって努力する「生きる力」の育成

教育活動においてのそれぞれの場面で目標を設定し、それぞれの子どもがその目標をめざして進む「見通し一振り返り」学習活動を展開しています。主体的な学習態度を育成するため、学年の発達段階に応じて、「めあてをもつ一活動する一振り返り」という授業を展開しています。振り返りの場では、学習のまとめにおいて「めあて」を振り返り、次時の学習における「めあて」や課題の設定、追求の方法を考えます。

子ども達の「生きる力」につながるよう教育活動を積み重ねています。

◆望ましい人間関係づくり

集会活動では、それぞれの児童が自主的自発的にリーダーシップとフォロワーシップを発揮しています。ふれあいの場において成就感や満足感を味わうことを通じて自分自身の有用性を感じることができるので、自尊感情が高まっています。



◆体力向上の取組

なわとび週間やかけ足週間など子どもたちの体力向上のために様々な取組を行っています。おこなわ週間では、各学級で跳べた回数を競い合っ、体力の向上に努めています。



◆たてわり班の仲間づくり

たてわり班での活動は、異学年との交流を深め、よりよい集団づくりにつながっています。リーダーシップとフォロワーシップを発揮しながら、集団で活動する環境づくりを体得していく場となっています。たてわり班は、1年生から6年生までの全613名の子ども達が18班に分かれて、学校全体の仲間づくりをめざしています。



給食後の歯みがきが習慣化

給食終了後、一斉に歯みがき活動を行います。クラスの友達とみんなで順序よく歯をみがくことで、習慣化しています。教室での歯みがき活動は、子ども達が自主的にリードし、順序などを伝え、進んで取り組んでいます。食後の歯みがきを通して、自ら歯や口腔の健康を守る態度が身につきます。歯ブラシを正しく持って、みがきにくいところを工夫してこうという気持ちが高まっています。

健康委員会の児童がリーダーシップを発揮して、健康保持増進のために歯みがきリーダーを努める「わっはっは活動」も展開しています。

本年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一部の活動を自粛しています。



塚本小
QRコード

